

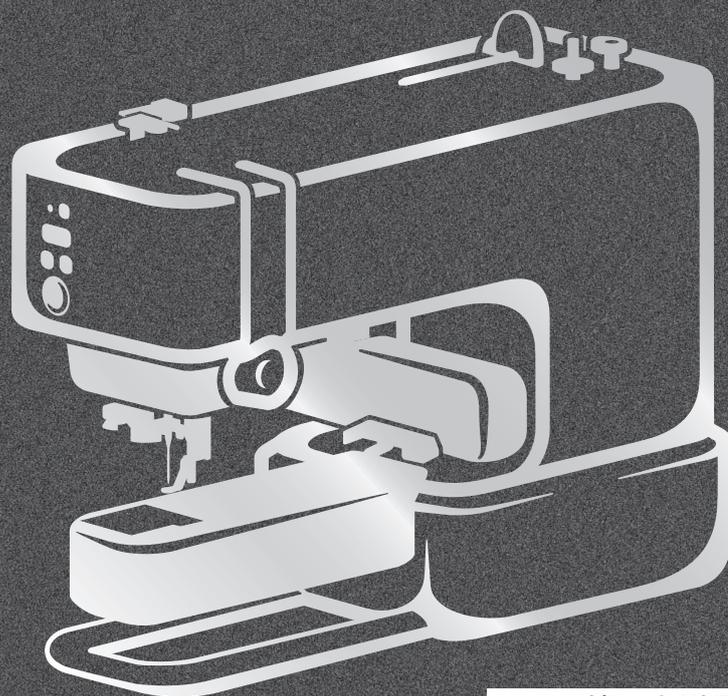
SKiTCH!

brother

取扱説明書

刺しゅう専用ミシン

PER00 シリーズ



使い方動画



<https://s.brother/cvuka/>

- ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。
- 最新の取扱説明書は、ブラザーのサポートサイト（<https://s.brother/cpuaa/>）でご覧いただけます。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、取扱説明書で機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。また取扱説明書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。

安全にお使いいただくために

人への危害や損害を未然に防ぐために、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれのある」内容です。
 注意	「傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある」内容です。
重要	「物的損害が発生するおそれのある」内容です。

■ お守りいただく内容を区分して説明しています。

 「してはいけない」内容です。
 「実行しなければならぬ」内容です。

警告

火災・感電・故障・事故などをさけるために

-  一般家庭用電源 AC100V の電源で使う
-  爆発性および導電性の粉塵が発生する環境では使わない
-  本製品を清掃する際や、近くで可燃性のスプレーなどを使わない
可燃性スプレーの例
 - 体ほこり除去スプレー
 - 殺虫スプレー
 - アルコールを含む除菌、消臭スプレー
 - アルコールなどの有機溶剤や液体
-  次の場合は電源を切り、プラグを抜く
使用後や、そばを離れるとき
使用中に停電したとき
接触不良などで正常に動作しないとき
雷が鳴りはじめたとき

火災・感電・故障・事故などをさけるために

-  異常・故障時は ...
すぐにプラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡を！
(またはお客様相談室 (ミシン 119 番) へ)
異常などの例：
煙が出た、異臭や異常音がする
本体を落とした
電源コードやプラグの破損
本体に水が入った
-  本製品は、お子様の手の届かないところで使用・保管する
(本製品には小さな部品が含まれており、誤飲のおそれがあります)
-  本機が入っていた袋は、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄する
(かぶって遊ぶと、窒息のおそれがあります)

注意

けが・針折れなどをさけるために

針や周辺部品

-  縫製中は次のことをしない
 - 針やプーリー、てんびんなど、動いている部品に手を近づける
 - 針の下などに指を入れる
 - 布地を無理に引っ張ったり、押ししたりする
- 曲がった針は使わない
-  針の交換時は、電源を切る
(誤ってスイッチを押すと、本体が作動するおそれがあります)
- 上糸や下糸などに関する操作は、本書に従って正しく行う
(誤ると、糸がらみなどが発生し、針の折れや曲がりのおそれがあります)

⚠ 注意

けが・故障 をさけるために

持ち運び



- 急激または、不用意に持ち上げない
(本体の重さは約 8 kg あります。)



- グリップ 2 カ所を持って運ぶ
(他の部分では、こわれたり、すべて落ちておそれがあります)

火災・発熱・感電 をさけるために

電源コードやプラグ



- 次のようなことをしない
 - ・ たこ足配線
 - ・ 濡れた手でプラグの抜き差し
 - ・ 電源を切らずにプラグを抜く
 - ・ ゆるんだコンセントに差し込む
 - ・ 電源コードを引っ張って抜く
- 電源コードは、次のような扱いをしない
 - ・ 無理に曲げる
 - ・ ねじる
 - ・ たばねたまま使う
 - ・ 重い物を載せる など



- プラグは根元まで確実に差し込む

火災・感電・けが・故障・事故などを

さけるために

設置・保管場所



- 次の場所に設置や保管をしない
 - ・ 著しく高温や低温になる
(使用環境温度は 0 ~ 40 °C)
 - ・ 急激に温度が変化する
 - ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い (火のついたたばこやろうそく、アイロン、ストーブなど)
 - ・ スプレー (布用スプレーなど) を使う部屋
 - ・ 湿気や湯が多い
 - ・ 屋外や、直射日光が当たる
 - ・ ほこりや油煙が多い
 - ・ 不安定な場所 (ぐらつく、傾くなど)
- 換気口に糸くずやほこりをためない
- 換気口をふさがない

取り扱い



- 換気口や内部にドライバーなどを差し込んだり、異物を入れない
(高電圧部に触れるおそれがあります)
- 修理や分解、改造は行わない
- 本製品のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤、洗剤を使わない
(塗装がはがれたり、傷がついたりするおそれがあります)



- 付属品、別売品は純正品を使う
ブラザー純正品または推奨品以外の部品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。
※ その他のものが必ず不具合を起こすわけではありません。
- 本書に記載の整備は、プラグを抜いてから行う

🔍 お願ひ

- ・ このミシンは日本国内向け、家庭用です。日本国外では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- ・ 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- ・ 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご連絡ください。
- ・ 本機をご使用になる方 (お子様を含む) が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- ・ お子様を使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

Bluetooth® の電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の電源を切って、Bluetooth®での本機の使用を停止してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談室（マシン 119 番）へお問い合わせください。

電波の種類と干渉距離

2.4XX8

本機は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式は、DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の“その他の方式”です。与干渉距離は 80m 以下です。

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「XX」：変調方式を表す。

「8」：移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離を表す。

「」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

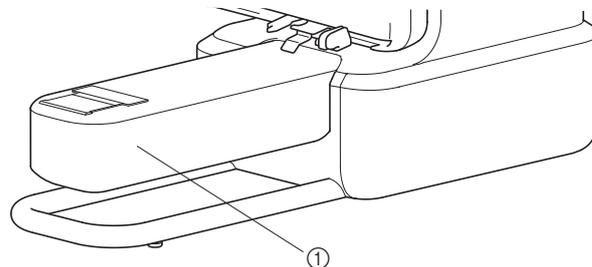
無線モジュール内蔵について

本機は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

警告表示について

■ 本体

下記の警告が表示されています。
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。
また、警告表示は、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。

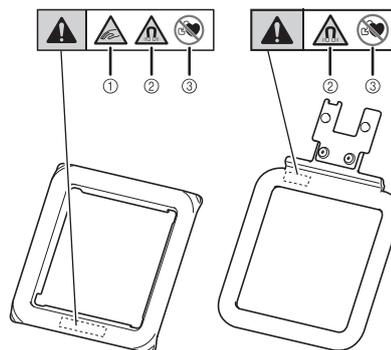


①



■ 刺しゅう枠（マグネット枠）

マグネット枠には下記の警告が表示されています。



マグネット枠には磁石が含まれています。

- ① 上枠と下枠の間に指などをはさまないように注意してください。指をはさむと、けがをするおそれがあります。
- ② 精密電子機器、コンピューターディスク、磁気読み取り部分のあるクレジットカードなどには、本製品を近づけないでください。
- ③ ペースメーカーを装着している場合は、本製品を使用しないでください。

商標について

Bluetooth® ワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ブラザーは、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

利用規約

重要！！ よくお読み下さい：

この利用規約（以下、「本規約」といいます）は、お客様が弊社の刺しゅう機（以下、「弊社製品」といいます）をご利用になる際にインストールまたは使用される本ソフトウェアについて、お客様とブラザー工業株式会社（以下、「弊社」といいます）が締結する契約です。「本ソフトウェア」とは、すべてのコンテンツデータ（デザインまたは刺しゅうデータを含み、総称して「コンテンツ」といいます）、データフォーマット、弊社製品におけるファームウェア、PC アプリケーション、またはモバイル機器アプリケーションを指すものとします。弊社製品のご利用には、弊社製品と接続されるお客様の端末（モバイル機器等）に、弊社が提供するコンテンツ編集アプリケーションソフトウェア（以下、「弊社アプリ」といいます）のインストールが必要です。詳細は、取扱説明書をご確認ください。

本ソフトウェアおよび弊社製品をお客様がご利用になることにより、お客様は本規約の各条項に従うことに同意したものとみなされます。お客様が本規約に同意されない場合、弊社は本ソフトウェアをお客様にライセンスすることができず、お客様は本ソフトウェアの使用を許諾されません。なお、本規約への修正または追補が本ソフトウェアになされる場合があります。

企業を代理して本規約に同意する個人は、その企業における法的拘束力のある契約を締結する権限を有していることを表明します。

使用許諾条件：

1 使用許諾

- 1.1 本規約に基づき、弊社はおお客様に対し、弊社製品をご利用になる範囲に限り、本ソフトウェアにおける非独占的、譲渡不能かつ取消可能のライセンスを許諾します。
- 1.2 お客様に認められた本ソフトウェアの使用に関する権利は、本規約のもとでのお客様の本ソフトウェアのご使用に関するのみライセンスされるものであり、譲渡されるものではありません。弊社または弊社のライセンサーは、本ソフトウェアに含まれる知的財産権に限らず、すべての権利、権原および利益を保持します。

2 制限

- 2.1 本規約に明示的に記載されている場合、または、各国の法令によって要求される場合を除き、お客様は以下の条件に従います。
 - 2.1.1 分解、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、翻訳、または他の方法により、本ソフトウェアのソースコード（弊社製品または弊社アプリを使用してお客様が作成したコンテンツを含むものとし、以下、第2条において同様に適用します。）を取得しないこと。
 - 2.1.2 本ソフトウェアの全部または一部に基づく派生物（7.2条に定めるお客様コンテンツを除く）を製作しないこと。
 - 2.1.3 弊社からの書面による事前の承諾なく、本ソフトウェアの全部または一部を、いかなる形態であれ他者に配布、提供、利用可能にしないこと。
 - 2.1.4 本ソフトウェアを弊社製品上での通常の使用に付す場合、またはバックアップや運用上の安全のために必要な場合を除き、本ソフトウェアを複製しないこと。
 - 2.1.5 本ソフトウェアの全部または一部の譲渡、賃貸、リース、サブライセンス、貸付、翻訳、結

合、翻案、変更、改造、改変を行ってはならないこと、また本ソフトウェアまたはその一部を他のプログラムに結合させたり、組み込んだりしてはならないこと。

- 2.1.6 本ソフトウェアの全部または一部の複製物においても、弊社または弊社のライセンサーの著作権表示およびこの利用規約を含めておくこと。
- 2.1.7 本規約の第1条に規定する以外の目的（許可されていないマシン、刺しゅう機またはクラフト製品もしくはソフトウェアと共に使用することを含むがこれに限定されません）において、本ソフトウェアを使用しないこと。

3 無保証

適用される法令にて許容される範囲において、本ソフトウェアは、口頭または書面によるかにかかわらず、また明示的または黙示的にかかわらず、いかなる種類の保証または条件なく、“現状有姿”にて提供されます。弊社は、本ソフトウェアにおける商品性、品質の完全性、非侵害性または特定の目的への適合性について、いかなる黙示的な保証もいたしません。

4 責任制限

- 4.1 弊社は、本ソフトウェア、サポートサービスまたは本規約に起因するまたは関連する、お客様、最終使用者、または、その他の事業者が生じる、いかなる利益または収益または貯蓄の損失、データの損失、使用の中断、または派生的、偶発的、特別、懲罰的または間接的な損害について、（規約上の行為または不法行為のいずれであっても）、たとえ弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合であっても、いかなる責任も負わないものとします。これらの制限は、限定的救済手段の本質的目的が達成されない場合であっても、適用される法令で認められる最大限の範囲に適用されます。
- 4.2 本規約第3条または第4.1条にかかわらず、本規約は、弊社の過失によって生じる死亡または人身傷害に関する責任を排除または制限するものではなく、または、消費者の法的権利を限定するものではありません。

5 利用にあたって発生する通信費等

本ソフトウェアに関連するサービスの一部は、通信回線を使用し提供される場合があり、お客様が本ソフトウェアを利用する際には通信費が発生することがありますが、当該通信費はお客様の負担とします。その他お客様が本ソフトウェアを利用するにあたって必要となる費用はお客様の負担とします。上記の通信費等を弊社は負担いたしません。

6 アップデート

弊社は、自己の裁量において、お客様に通知の上、あるいは、通知することなく、本ソフトウェアの機能追加、削除を行う、または、修正プログラム、性能向上版、アップデート、アップグレード（以下総称して、「アップデート」といいます）を提供する権利を留保します。お客様は、弊社がアップデートを提供したり、本ソフトウェアの後続バージョンを利用可能にする義務を負うものではないことに同意します。お客様は、アップデートを利用したい場合、本規約の修正版を結ぶことが弊社の裁量において要求される場合があることに同意します。

7 コンテンツの利用

- 7.1 お客様は、本ソフトウェアと接続する弊社アプリを介して、または、関連して弊社または弊社のライセンサーにより、アップロード、保存またはその他の方法で利用可能な状態となったコンテンツ（以下まとめて、「弊社コンテンツ」といいます）を使用することができます。お客様は、少なくとも弊社コンテンツを使用したクラフト作品の創作ならびに当該クラフト作品の私的使用をすることができます。当該私的使用の条件（例えば、編集の制限等）やその他の利用条件（例えば、クラフト作品の販売禁止等）は、異なる場合がありますのでご注意ください。各弊社コンテンツの利用条件は、本ソフトウェアと接続する弊社アプリと共に提供されるエンドユーザーライセンス契約を参照ください。
- 7.2 お客様は、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアと接続する外部機器を用いてコンテンツを創作または編集し、新たなコンテンツを作成することができます。お客様が新たなコンテンツを作成した場合、当該新たなコンテンツ（以下、「お客様コンテンツ」といいます）は、お客様の責任において使用することができます。

8 ソフトウェアに関するお客様の義務

お客様は、以下を約束するものとします。

- A) 本ソフトウェアの利用に際し適用されるすべての法令を遵守すること
- B) 本ソフトウェアを、違法、中傷的、猥褻、下品、攻撃的、脅迫的な、または第三者の知的財産権を侵害する利用方法をしないこと
- C) ウィルス、ワーム、トロイの木馬その他技術的に有害なデータ、プログラムまたはソフトウェアを本ソフトウェアに関連して頒布または送信しないこと

9 解除

- 9.1 お客様が本規約における重大な違反をし、弊社による請求に基づきその違反を直ちに是正しない場合、弊社はいつでも本規約を解除する権利を有するものとします。
- 9.2 本規約に基づきお客様に付与されたすべての権利が何らかの理由により終了した場合、お客様は本規約により許可されたすべての活動を終了し、お客様が所有するすべてのコンピュータ機器から本ソフトウェアを直ちに消去または削除し、また、お客様の所有する本ソフトウェアのすべての複製物もしくはその派生物を削除または破棄します。上記に加えて、お客様は所有する弊社製品によりお客様が作成したコンテンツを削除するものとします。

10 一般条項

- 10.1 お客様は、適用される法律または規則に違反して、本ソフトウェアまたはそのコピーもしくはその改変物を輸出または再輸出してはなりません。
- 10.2 お客様は、本規約における権利または義務の全部または一部を、弊社製品の所有権と共に譲渡する場合を除き、第三者に譲渡してはなりません。合併、資産または株式の売却に伴う支配または再編成の変更は、本規約の譲渡であるとみなします。
- 10.3 お客様は、本規約の違反が、金銭的損害賠償が適切な救済策ではなく、弊社に回復不能な損害を引き起こすものであることに同意し、弊社は、本規約または法令に基づく救済に加えて、保証金、その他の担保、または損害額の証明なく、衡平法上の救済を求める資格を有するものとします。

- 10.4 本規約のいずれかの条項が管轄権を有する裁判所によって無効または執行不能と宣言または決定された場合、その条項は本規約の他の条項と切り離して独立し、その他の条項および規約全体の有効性はこれによる影響を受けるものではありません。
- 10.5 本規約は、ここに添付されているすべての書類とともに、本件の主題に関する当事者間の完全な合意を構成し、この件に関する当事者間の口頭および書面によるすべての提案に優先します。
- 10.6 弊社が、本規約に基づく義務の履行をお客様に求めなかった場合、または弊社がお客様に対して何らかの権利の行使をしない場合、もしくは弊社がこれらを遅延する場合があったとしても、弊社はお客様に対する権利を放棄するものではなく、また、お客様がそれらの義務を遵守する必要がないということの意味するものではありません。弊社がお客様の不履行に関する請求権を放棄する場合、弊社は書面でのみこれを行うものとし、また、これはお客様によるその後の不履行を自動的に放棄することを意味するものではありません。
- 10.7 本規約は日本国の法律に準拠し、日本国内の裁判所の排他的裁判管轄に属するものとします。
- 10.8 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、お客様の事前の同意を得ることなく本規約の内容を変更することができます。但し、当該変更の内容は、原則として弊社ウェブサイトへの掲載その他相当な方法により事前に周知されるものとし、周知の際に別途定める適用開始日から適用されます。

(ア) 変更内容が、お客様の一般の利益に適合するとき

(イ) 変更内容が相当性・合理性のあるものであり、かつ、契約をした目的に反しないものであるとき

11 第三者のソフトウェア

本ソフトウェアには、第三者のソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアのプログラム（以下総称して、「第三者のソフトウェア等」といいます）が含まれている場合がございます。当該第三者のソフトウェア等については、別途規定する適用ライセンス条件をご参照ください。

基本的な手順

作品が完成するまでの基本的な手順をご紹介します。
それぞれの手順の詳細は本書で説明していますので、ご確認ください。

のイラストが付いている手順は、使い方動画でもご確認くださいいただけます。

以下の URL から使い方動画一覧にアクセスしてください。



<https://s.brother/cvuka/>

本体とアプリを用意する

お使いのモバイル端末に専用アプリをインストールし、本体とペアリングします。(P.13)



刺しゅう模様を選択する

- (1) アプリで刺しゅう模様を選択します。(P.14)
- (2) 接着芯を貼った布地をマグネット枠に張ります。(P.14)
- (3) 刺しゅうする位置を調節し、模様データを本体に転送します。(P.16, P.17)



下糸を準備する

下糸が巻いてあるボビンを、セットします。(P.20)



刺しゅうする

- (1) マグネット枠を取り付けます。(P.22)
- (2) アプリに表示されるぬい順を確認し、上糸を1色ずつセットして刺しゅうします。(P.24)
- (3) すべての色を刺しゅうします。



完成

仕上がりを確認してください。

本製品のマニュアル

名称	内容	確認
取扱説明書 (印刷)	アプリや本体の基本的な操作方法を説明しています。ご使用前にお読みください。	印刷／同梱
取扱説明書 (Web)	取扱説明書 (印刷) の説明内容に加え、刺しゅう模様の編集方法や設定項目など、アプリの機能を紹介しています。	ブラウザのサポートサイト https://s.brother/cmuka/ 
かんたん操作ガイド	本体のセットアップから縫製までの流れを確認できる早見表です。	印刷／同梱
付属品一覧	本製品に付属しているアクセサリーのリストです。	印刷／同梱

アイコンの説明

• 操作手順

アイコン	説明
	本体を操作する手順
	アプリを操作する手順

• LED 表示

アイコン	説明
●	消灯
☀	点滅
●	点灯

• スイッチの押し方

アイコン	説明
	押ししてください。
	長押ししてください。 *2 秒以上押し続けてください。

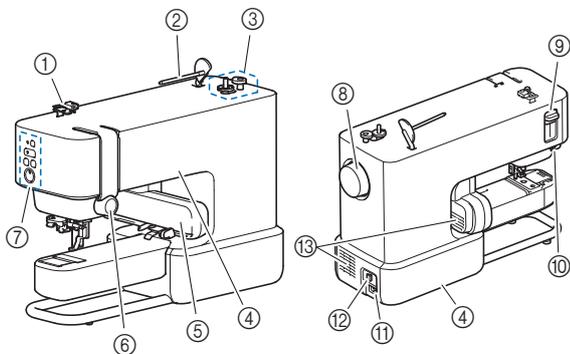
目次

第1章	刺しゅうする前の準備	10
	本体の各部の名称.....	10
	本体を持ち運ぶときは.....	11
	用意するもの.....	11
	本体をセットアップする.....	12
	電源の入れ方.....	12
	本体とアプリの接続.....	13
	刺しゅうキャリッジの位置を初期化する.....	13
第2章	刺しゅう	14
	模様を選択する.....	14
	刺しゅう枠に布地を張る.....	14
	接着芯を貼る.....	15
	刺しゅう枠（マグネット枠）に布地を張る.....	15
	刺しゅうする位置を調節する （[カメラ撮影]機能）.....	16
	模様データを転送する.....	17
	下糸を準備する.....	18
	下糸を巻く.....	18
	ボビンをかまにセットする.....	20
	針・糸交換モード.....	21
	刺しゅう枠を取り付ける.....	22
	上糸通し.....	24
	刺しゅうする.....	26
	糸調子を整える.....	29
第3章	付録	30
	本体のお手入れ.....	30
	本体表面の掃除.....	30
	注油に関して.....	30
	本体を使用・保管するときのご注意.....	30
	かまの掃除.....	31
	針の交換.....	32
	正しい針の見分け方.....	32
	針を交換する.....	32
	困ったとき.....	33
	LEDの見方.....	33
	通信がうまくいかないときは.....	33
	ボビン受け座の下に糸がからまってしまった.....	34
	こんなときは.....	34
	エラーメッセージ.....	37
	本体をアップデートする.....	38
	製品を貸与・譲渡・廃却するときの注意.....	38
	仕様.....	39
	索引.....	40

第1章 刺しゅうする前の準備

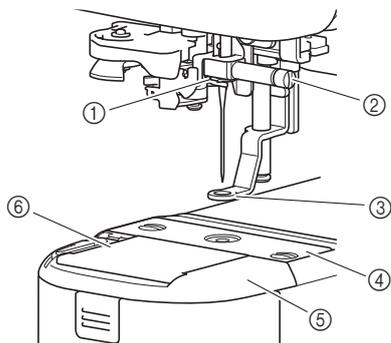
本体の各部の名称

■ 主要部



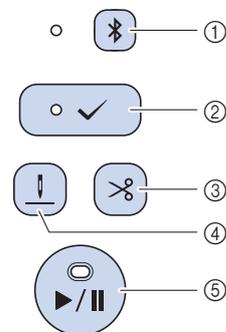
- ① 糸案内
- ② 糸たて棒
- ③ 下糸巻き装置
- ④ グリップ (2カ所)
本体を持ち運ぶときに使用します。(P.11)
- ⑤ 刺しゅうキャリアッジ
- ⑥ 糸調子ダイヤル
- ⑦ 操作スイッチとLED (P.10, P.33)
- ⑧ プーリー
手動で針を上げ下げするときに、糸調子ダイヤルの方向に回します。
- ⑨ 糸通しレバー
- ⑩ 糸切り
- ⑪ 電源ジャック
- ⑫ 電源スイッチ
電源を入れるときはスイッチの右側 (「I」側) を押し、電源を切るときはスイッチの左側 (「O」側) を押します。
- ⑬ 換気口 (2カ所)
モーターの換気用の穴です。本体を使用している間はふさがないでください。

■ 針と押え部分



- ① 針棒糸かけ
- ② 針のとめネジ
- ③ 押え
布地を押さええます。
- ④ 針板
- ⑤ 針板カバー
- ⑥ 針板ふた

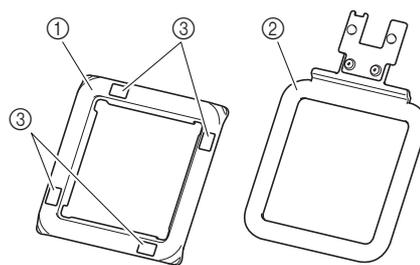
■ 操作スイッチとLED



- ① **Bluetooth スイッチ**
Bluetooth で本体とアプリをペアリングするときに長押しします。(P.13)
スイッチ横のLEDの点滅速度は、本体とアプリの接続状態によって変わります。
- ② **承認スイッチ**
LEDが点滅しているときは、アプリに表示されている内容を確認し、スイッチを押します。
本体を針・糸交換モードに切り替えるときは、長押ししてください。(P.21)
- ③ **糸切りスイッチ**
刺しゅうのぬい終わりに押して、上糸と下糸を切ります。
- ④ **糸通し位置スイッチ**
針を糸通しに適した位置 (高さ) に合わせます。
- ⑤ **スタート/ストップスイッチ**
縫製を開始または停止します。LEDの色や光り方は、本体の状態によって変わります。

LEDの色や光り方については、「LEDの見方」(P.33)を参照してください。

■ 刺しゅう枠 (マグネット枠)



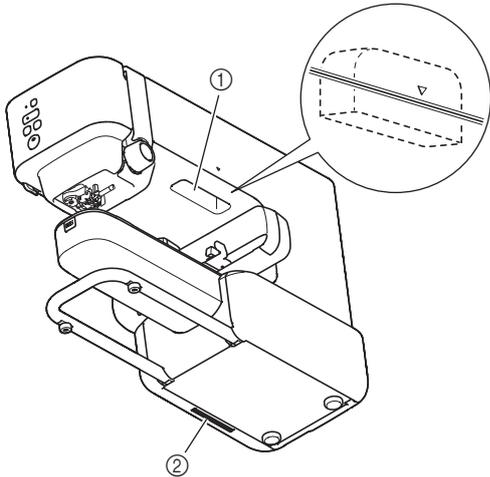
- ① 上枠
- ② 下枠
- ③ マーク ([カメラ撮影] 機能で使用)

本体を持ち運ぶときは

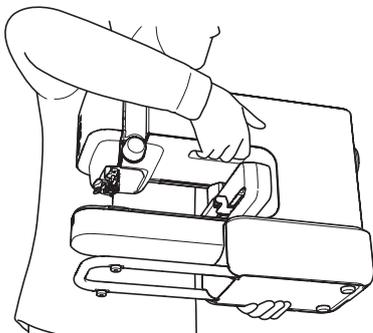
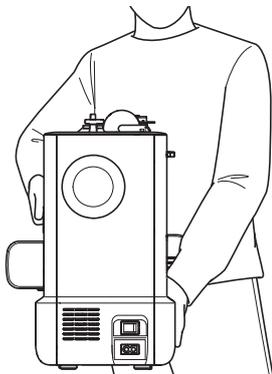
▲ 注意

本体を持ち運ぶときは、グリップ（くぼみと支え部）を使用してください。他の部分を持つと、本体が故障したり、すべて落ちてけがをするおそれがあります。

2カ所のグリップ（右側のくぼみと左側の支え部）を持って持ち運びをしてください。



- ① くぼみ
- ② 支え部

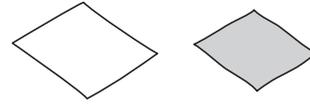


用意するもの

布地と接着芯

布地の裏側に接着芯を貼ってから刺しゅうすることで、作品をきれいに仕上げることができます。

接着芯は、刺しゅう枠よりも大きなものを用意してください。接着芯を使用するときは、お使いの接着芯の説明書を参照してください。



刺しゅう糸（上糸・下糸）

上糸：

刺しゅうする模様に必要な色の糸を用意します。ブラザー純正の刺しゅう糸を使用してください。他の糸を使用した場合、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。



下糸（またはプレウンドポビン）：

布地の裏側に出てくる糸です。付属のプレウンドポビン（下糸巻き済のポビン）、または、ブラザー純正の刺しゅう下糸（90番）を使用してください。



針（本体に取り付けられています）

家庭用ミシン針の11番を使用してください。（P.32）



モバイル端末

本製品を使用するときは、専用のアプリが必要です。お使いのモバイル端末にブラザーの Artspira（アーツピラ）アプリをインストールし、刺しゅう模様の編集や、本体の操作をしてください。

Artspira（アーツピラ）アプリ



本体をセットアップする

電源の入れ方

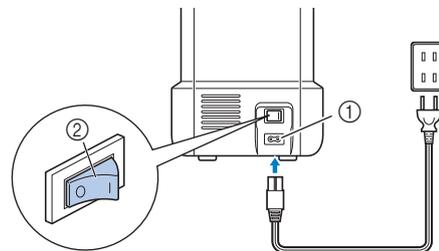
⚠ 警告

- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- 次のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - 本体のそばを離れるとき
 - 本体を使用したあと
 - 使用中に停電したとき
 - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意

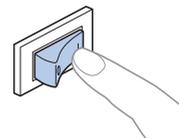
- 電源コードは、必ず本製品に付属のものを使用してください。それ以外のものは、火災・感電の原因となります。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 1 電源スイッチが「切」になっている（「○」側を押し込めてある）ことを確認します。電源ジャックに電源コードを差し込みます。
- 2 電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



- ① 電源ジャック
② 電源スイッチ

- 3 電源スイッチの右側（「I」側）を押して、電源を入れます。

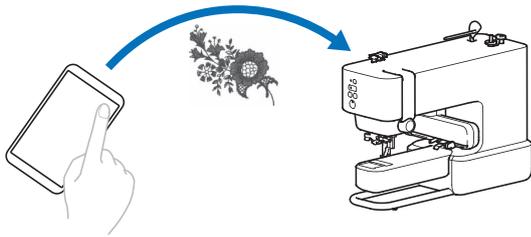


💡 お願い

電源を切るときは、電源スイッチの左側（「○側」）を押してください。

本体とアプリの接続

お使いのモバイル端末に専用アプリをダウンロードし、本体とアプリを Bluetooth で接続します。



■ アプリをインストールする

: アプリ

- 1 モバイル端末から Google Play または App Store にアクセスします。



- 2 ブラザーの Artspira (アートスピラ) アプリ [Brother Artspira] をインストールします。

■ 本体とアプリをペアリングする

: アプリ

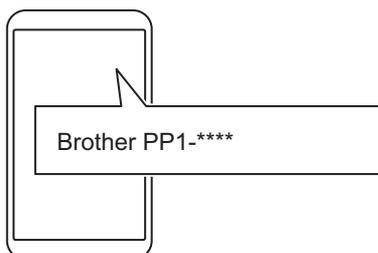
- 1 アプリのホーム画面にある をタップします。
- 2 [ミシン] → [Bluetooth モデル] を選択します。
→ ペアリングの手順が表示されます。

: 本体

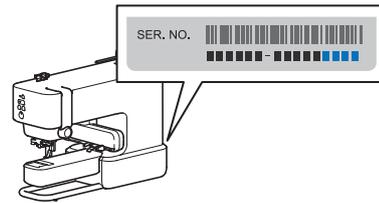
- 3 (Bluetooth スイッチ) を長押しします。
ピッと音が鳴り LED の点滅速度が 1.5 秒間隔になるまで長押ししてください。

: アプリ

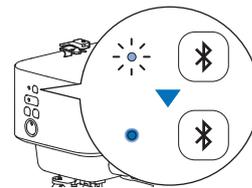
- 4 ペアリングする本体を選択します。



本体の名前は、「Brother PP1」と、4桁の数字で構成されています。4桁の数字は、シリアル番号の下4桁です。シリアル番号は、本体背面のラベルでご確認ください。



→ ペアリングが完了すると、アプリの画面に [接続完了] と表示され、 (Bluetooth スイッチ) の横の LED が点灯します。



- 5 アプリのホーム画面に戻ります。

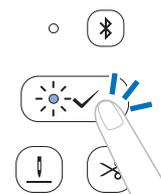
💡 お願い

- アプリとペアリングできる Bluetooth 機器は 1 台のみです。他の機器を使用する場合は、ペアリングの手順を参照してペアリングし直してください。
- 本体を他のモバイル端末でペアリングする場合は、本体の (Bluetooth スイッチ) を長押ししてペアリングを解除してから、使用するモバイル端末でペアリング操作をしてください。

刺しゅうキャリッジの位置を初期化する

刺しゅう枠を取り付ける前に、刺しゅうキャリッジの位置を所定の位置に戻します。

- 1 (承認スイッチ) を押して刺しゅうキャリッジを動かします。



刺しゅうキャリッジが動きます。

重要

刺しゅうキャリッジが動いている間は、手や物を近づけないでください。本体が故障するおそれがあります。

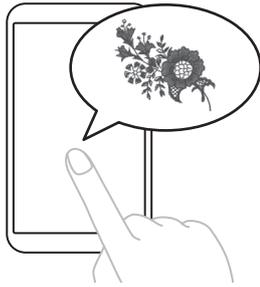
第2章 刺しゅう

模様を選択する

アプリを操作して、刺しゅうをする模様を選択します。

 : アプリ

- 1 アプリのホーム画面から、刺しゅうする模様を選択します。



- 2 模様を確定します。

刺しゅう枠に布地を張る

▲ 注意

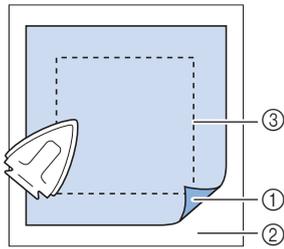
- 布地の厚さは2mmより薄いものを使用してください。2mm以上の厚さの布地を使用すると、針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。特に、伸びる布地や薄地、目の粗い織物、模様が縮む布地に刺しゅうするときは、接着芯を使用しないと、針が折れ、けがをするおそれがあります。

💡 お願い

- 刺しゅう枠を保管するときは、上枠と下枠の間に布地を挟んでください。上枠と下枠の磁石が直接くっつくと、上枠と下枠を離しにくくなります。
- 刺しゅう枠を使用する前に、刺しゅう枠に付着物（針やまち針の金属類）がついていないことを確認してください。表面に付着物がついていると、縫製結果に影響が出たり、本体に傷がつくおそれがあります。
- 伸縮する布地や厚手のジャケットなどに刺しゅうしないでください。上枠が下枠にくっつかなかったり、下枠から外れたりすると、布地が押えにひっかかり、うまく縫製できないおそれがあります。
- 布地の厚さは2mmより薄いものを使用してください。すべり止め付き裏地など、特殊加工された布地の場合、2mmより薄い布地でも、縫製できないことがあります。
- 開口径の小さな筒ものに刺しゅうをするときは、「トリアルラン」を実行して、枠がスムーズに動作することを確認してください（P.22）。縫製中に枠が引っかかると、ぬいずれなどの原因となります。

接着芯を貼る

- 1 接着芯を、布地の裏側に、アイロンをかけて貼ります。接着芯は、刺しゅう枠よりも大きいものを使用してください。



- ① 接着芯の接着面
- ② 布地（裏面）
- ③ 刺しゅう枠の大きさ

💡 お願い

接着芯を使用するときは、接着芯の説明書をお読みください。

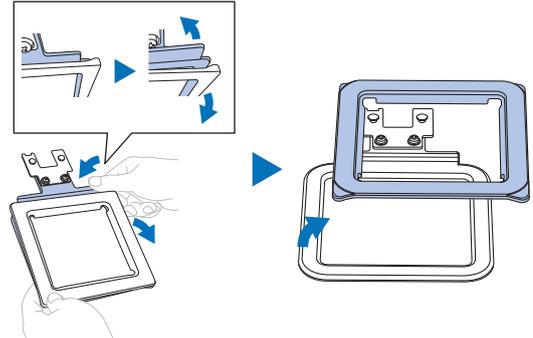
刺しゅう枠（マグネット枠）に布地を張る

⚠ 注意

上枠を着脱する際は、下枠とのすき間で指をはさまないように注意してください。指をはさむと、けがをするおそれがあります。

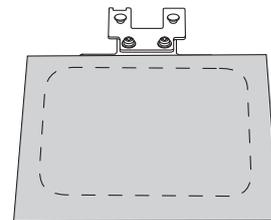
- 1 上枠と下枠を離します。

上枠と下枠は強力なマグネットでくっついています。親指と人差し指で枠上部の角に上下の力を加えることで、離しやすくなります。



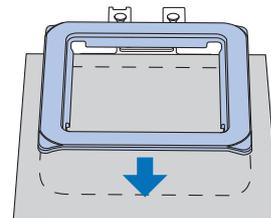
- 2 下枠を平らな場所に置きます。その上に、接着芯の貼ってある布地をのせます。

布地の表側を上にしてください。



- 3 布地の上から上枠をのせます。

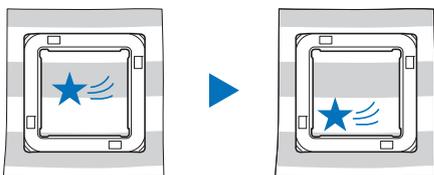
布地がたるまないようにのせてください。



- 4 上枠を軽く持ち上げて、上枠が布地をしっかりと保持していることを確認してください。

刺しゅうする位置を調節する（[カメラ撮影] 機能）

この機能を使用して刺しゅうする布地の画像をアプリに取り込むと、模様を刺しゅうする位置を調節しやすくなります。



 : アプリ

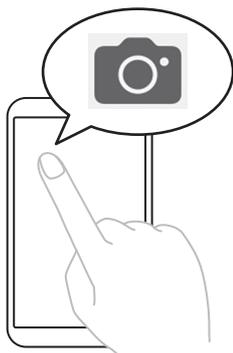
- 1 [レイアウト] をタップします。

🔔 お願い

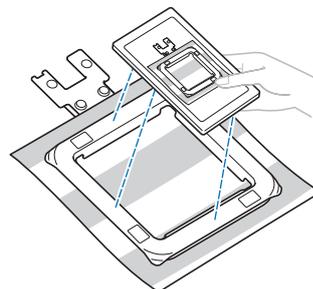
使用する機器がアプリで選択されていないと、[レイアウト] は表示されません。正しく選択されていることをアプリ画面で確認してください。

- 2 画面左上のカメラアイコンをタップします。

→ [カメラ撮影] 機能が開始し、モバイル端末のカメラが起動します。



- 3 布地を張った刺しゅう枠を水平な場所に置き、刺しゅう枠全体の画像を画面に表示させます。



重要

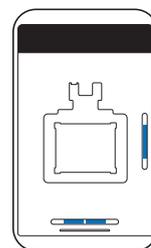
刺しゅう枠にある [カメラ撮影] 機能用マークをはがしたり傷つけたりしないでください。[カメラ撮影] 機能が使用できなくなります。

🔔 お願い

[カメラ撮影] 機能使用中は、マークが布端などで隠れないようにしてください。

- 4 画面に刺しゅう枠の輪郭線が表示されたら、その輪郭線を刺しゅう枠に合わせます。

モバイル端末を水平にしてください。



- 5 画像の取り込みが完了したら、[決定] をタップします。

→ 布地の画像の上に、選択した模様が表示されます。

- 6 模様をドラッグし、お好みの位置に移動させます。



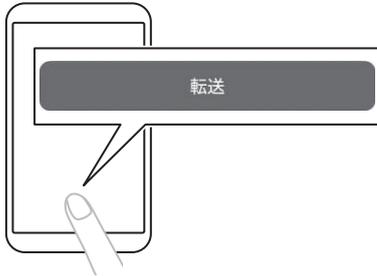
模様は、回転させることもできます。
画面下部の  をタップすると、位置を微調整できます。

- 7 [完了] をタップします。

模様データを転送する

 : アプリ

- 1 [転送] をタップし、模様データを本体に転送します。



- 2 アプリの画面に [送信完了] と表示されていることが確認できたら、[完了] をタップしてください。

お願い

使用する機器がアプリで選択されていないと、[転送] は表示されません。正しくが選択されていることをアプリ画面で確認してください。

下糸を準備する

本体到下糸をセットします。

重要

付属のボビンまたはそれと同等のボビンを使用してください。ボビンの高さは 11.5mm です。

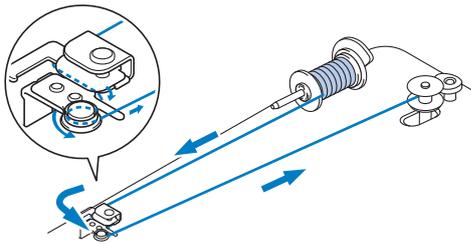
操作手順は、下糸がボビンに巻いてあるかどうかで異なります。

1. プレワウンドボビン（下糸巻き済のボビン）を使用する場合：
「ボビンをかまにセットする」（P.20）に進んでください。
2. ボビン到下糸を巻く場合：
このままお読みいただき、操作を続けてください。

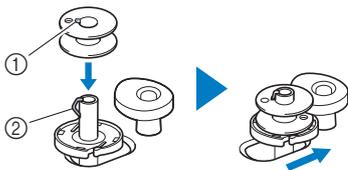
下糸を巻く

下糸用の糸をボビンに巻きます。ブラザー純正の刺しゅう用下糸（90番）を使用してください。

プレワウンドボビン（下糸巻き済のボビン）を使用する場合は下糸を巻く必要はありません。次の項目「ボビンをかまにセットする」（P.20）に進んでください。



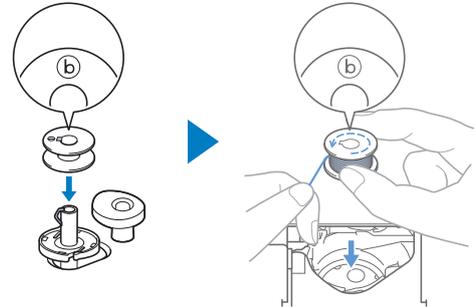
- 1 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネの位置を合わせて、ボビンセットします。カチッと音がするまでボビンを奥側に押し込みます。



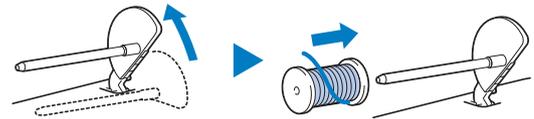
- ① ミゾ
- ② 下糸巻き軸のバネ

お願い

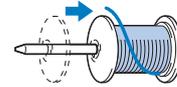
ボビンをかまにセットするときは、下糸巻きするときと同じ向きにセットします。付属のボビンの片面に刻印されている「b」マークを目印にしてください。



- 2 糸たて棒を起し、糸こまを糸たて棒に差し込みます。糸の向きがイラストと同じになるように差し込んでください。

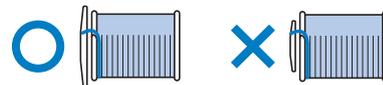


- 3 糸こま押えを糸たて棒に差し込みます。糸こま押えの丸みをおびている面を外側にして、奥までしっかりと差し込みます。



重要

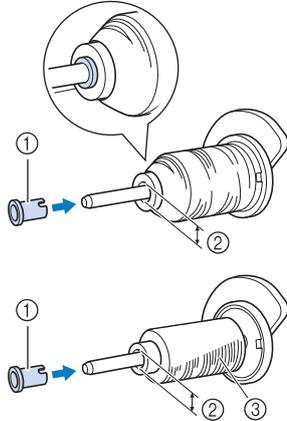
- 糸こまや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、故障の原因となります。
- 糸こま押え（大）（中）（小）は、糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸が糸こまの切り欠きなどに引っかかり、故障の原因となります。使用する糸こまによっては、糸こま押え（特殊）を使用します。



お願い

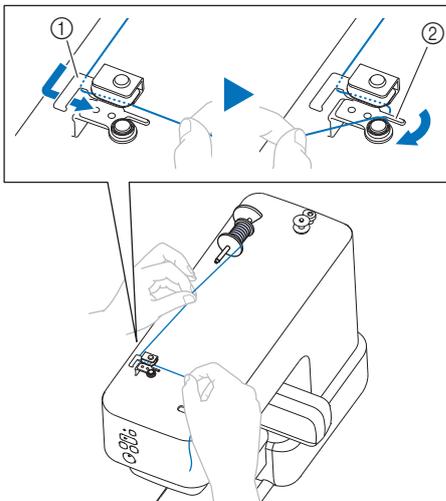
下図のような糸こまを使用するときは、糸こま押え（特殊）を使用してください。

糸こま押え（特殊）がしっかり取り付けられていることを確認してください。取り付け後、糸を引っ張ってひかかりなく糸が繰り出すことを確認してください。



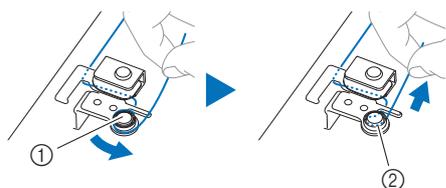
- ① 糸こま押え（特殊）
- ② 穴の直径が 8mm から 10.5mm
- ③ 糸こま（チーズ巻き）

4 糸を糸案内と突起部にかけます。



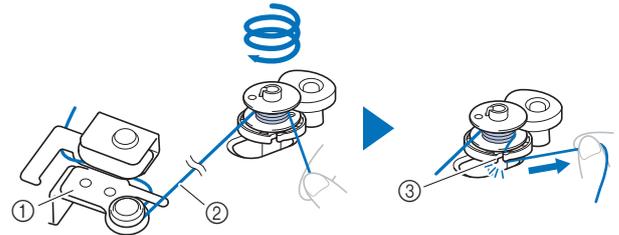
- ① 糸案内
- ② 突起部

5 糸案内皿に、時計と反対回りに糸をかけて、皿の下に通します。



- ① 糸案内皿
- ② しっかり奥まで入れるように引っ張ります。

6 糸を時計回りに 5～6 回、ボビンに巻き付けます。ボビン受け座のガイドミゾ（カッター付き）に糸をひっかけて余分な糸端を切ります。



- ① 下糸巻き案内
- ② 糸をピンと張る
- ③ ガイドミゾ（カッター付き）

お願い

糸は必ず時計回りに巻き付けてください。逆方向に巻くと、下糸巻き軸に糸が巻き付くことがあります。

注意

糸は、必ずガイドミゾのカッターで切ってください。正しく糸を切らずに下糸を巻くと、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れ、けがをするおそれがあります。

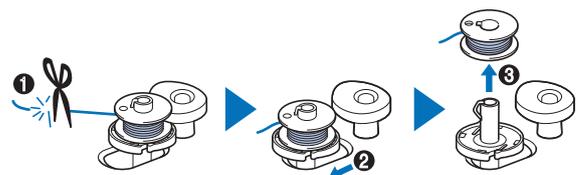
7 スタート/ストップスイッチを押して、下糸巻きを始めます。

8 ボビンの回転がゆっくりになったら、スタート/ストップスイッチを押して下糸巻きを停止します。

重要

ボビンの回転がゆっくりになったら、必ず下糸巻きを停止してください。無理に続けると故障の原因となります。

9 糸を切り、下糸巻き軸をカチッと音がするまで手前に戻し、ボビンを取り外します。



10 糸こまを糸たて棒から取り外します。

ポピンをかまにセットする

下糸を巻いたポピンをかまにセットします。セットしたら、下糸を引き出さずに刺しゅうすることができます。

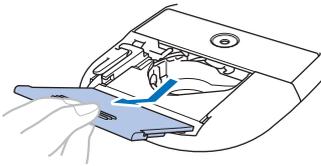
▲ 注意

- 必ず正しく巻かれた下糸を使用してください。巻き方が悪い下糸を使用すると、糸調子不良や針折れが原因でけがをするおそれがあります。

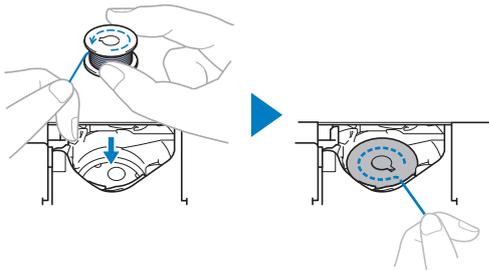


- 下糸をセットするときや交換するときは、必ず承認スイッチを長押ししてすべてのスイッチをロックし、針が動かないようにしてください。ロックせずにスタート/ストップスイッチやその他のスイッチを押すと、本体が作動してけがをするおそれがあります。

- ↓ (糸通し位置スイッチ) を押します。
- ✓ (承認スイッチ) を長押しします。
→ 本体が針・糸交換モードに切り替わります (P.21)。承認スイッチのLED が点滅し、スタート/ストップスイッチのLED が橙色に点灯します。承認スイッチ以外のスイッチは操作できなくなります。
- 針板ふたを取り外します。

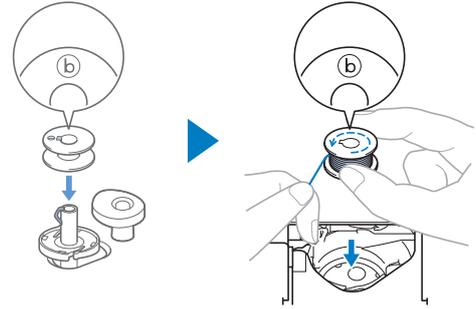


- 糸が左巻きになるようにして、ポピンをかまに入れます。

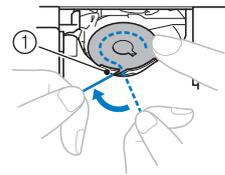


💡 お願い

ポピンは、糸が左巻きになる向き（下糸巻き時と同じ向き）で入れてください。



- ポピンを軽く押さえながら、糸端をツメにかけます。

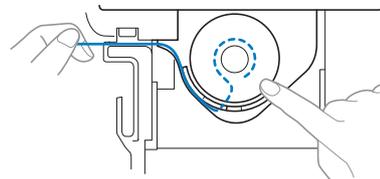


① ツメ

💡 お願い

ポピンは必ず指で押さえ、正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、ポピンを逆の方向にセットすると、糸切れや糸調子不良の原因となります。

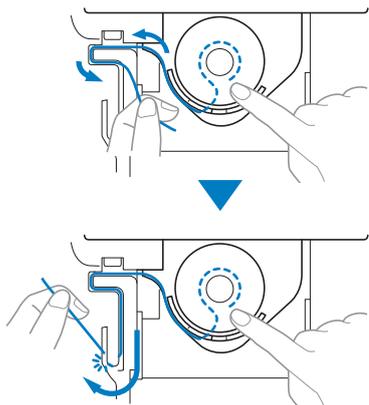
- ポピンを押さえたまま、ツメにかけた糸を軽く引っ張ります。



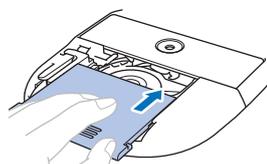
💡 お願い

このように引っ張ることで、内かまの板ばねの間に糸が入り、縫製時、下糸に適切な張力を加えることができます。

- 7 ボビンを押さえたまま、残りのミゾに糸を通します。最後に、ミゾに沿って引っ張り、カッターで切ります。



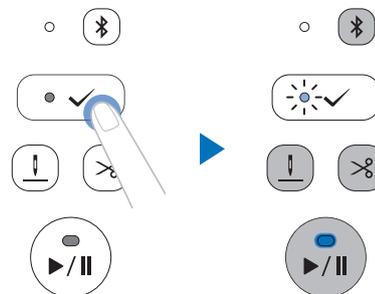
- 8 針板ふたを元に戻します。



- 9 ✓ (承認スイッチ) を長押しします。
→ 承認スイッチの LED が消え、針・糸交換モードが解除されます。

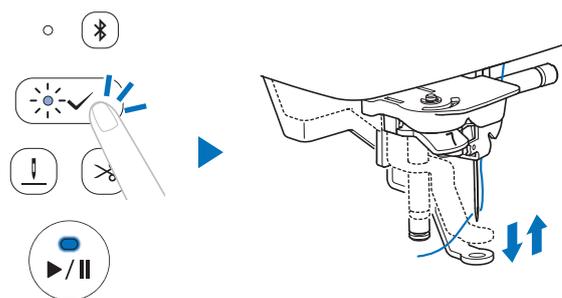
針・糸交換モード

針・糸交換モード中は、糸通し位置スイッチ、糸切りスイッチ、スタート/ストップスイッチ、Bluetooth スイッチがロックされ、誤操作によって針が動くのを防ぎます。針を交換するときや、上糸や下糸をセットするときはこのモードを使うことで、操作を安全に行うことができます。



承認スイッチを長押しすると、針・糸交換モードに切り替わります。(スタート/ストップスイッチが橙色に点灯し、承認スイッチは点滅します。)

針・糸交換モード中に承認スイッチを押すと、押えが上下します。



針・糸交換モードを解除するときも、承認スイッチを長押ししてください。

刺しゅう枠を取り付ける

▲ 注意

針や押えに刺しゅう枠が当たらないように注意してください。故障や針折れの原因となります。

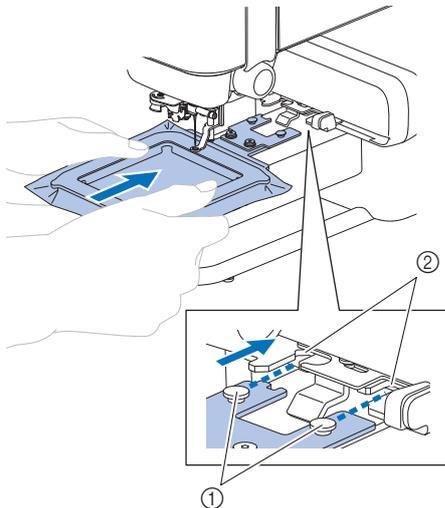
💡 お願い

- 刺しゅう枠を取り付ける前に、電源を入れてください。
- ポビンは、下糸を巻いた状態にしており、刺しゅう枠を取り付ける前にセットしてください。(P.20)

1 ✓ (承認スイッチ) を長押しします。
→ 本体が針・糸交換モードに切り替わります (P.21)。

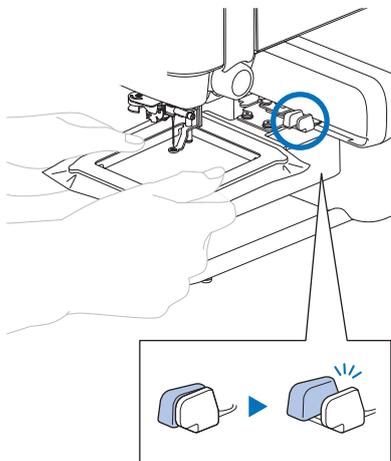
2 押えの下から刺しゅう枠を通し、刺しゅう枠ホルダーに刺しゅう枠ガイドをはめます。

刺しゅう枠ガイドのツメと刺しゅう枠ホルダーのミゾが合うように、「カチッ」と音がして刺しゅう枠が固定されるまで差し込みます。



- ① 刺しゅう枠ガイドのツメ
- ② 刺しゅう枠ホルダーのミゾ

3 刺しゅう枠ホルダーのレバーが開いていることを確認します。



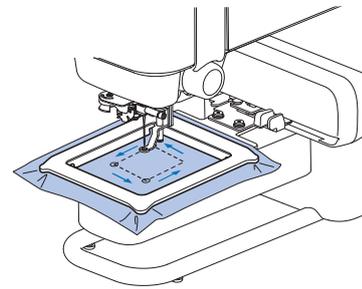
→ レバーが開いている場合、刺しゅう枠が正しく取り付けられています。

▲ 注意

刺しゅう枠は、刺しゅう枠ホルダーに正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと、押えが刺しゅう枠に当たり、けがをするおそれがあります。

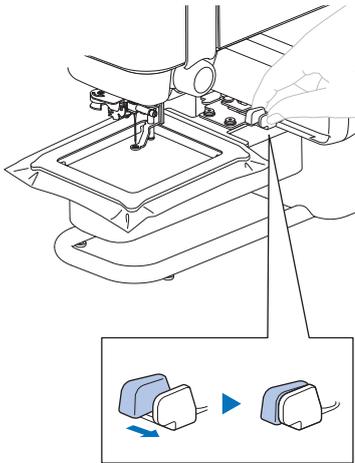
4 ✓ (承認スイッチ) を長押しします。
→ 承認スイッチのLEDが消え、針・糸交換モードが解除されます。

5 「トライアルラン」機能を用い、縫製中に刺しゅう枠が障害物にぶつからないことを確認します。アプリに表示される手順にしたがって [実行する] をタップしてください。
→ トライアルランが開始し、縫製中に刺しゅう枠が動く範囲が示されます。

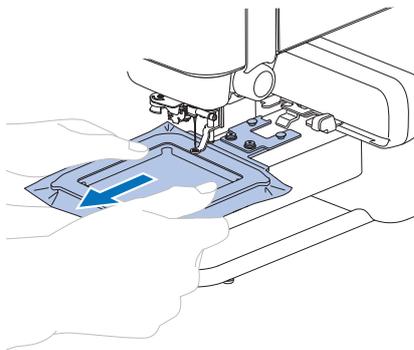


■ 刺しゅう枠を取り外す

- 1 刺しゅう枠ホルダーのレバーを閉じます。
→ 刺しゅう枠ガイドが刺しゅう枠ホルダーから外れます。



- 2 押えの下から刺しゅう枠を取り出します。

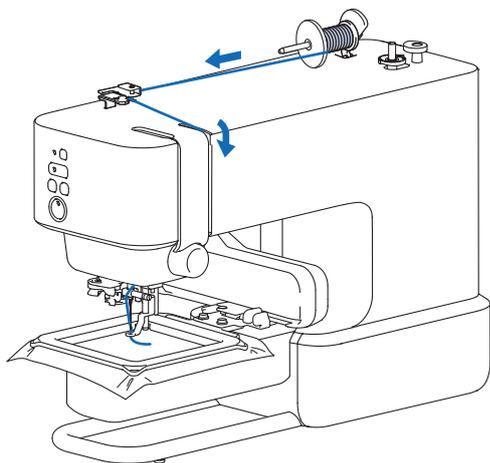


上糸通し

▲ 注意

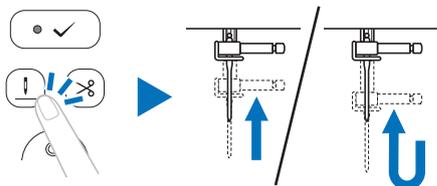
上糸は、手順に従って正しく通してください。上糸を正しく通していない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。

アプリに表示されている内容を確認し、縫製に使用する色の上糸を通します。



- 1** ↓ (糸通し位置スイッチ) を押し、針の位置を糸通しに適切な位置に合わせます。

針の位置が適切でないと、糸通し装置が正しく動作せず、糸が針に通りません。スイッチを押す前の針の位置によっては、針はいったん下がってから上がることがあります。



📄 お知らせ

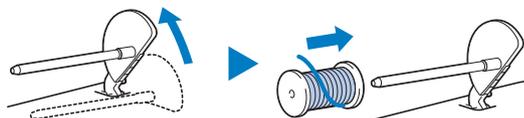
針が正しい位置にある場合、スイッチを押しても針は動きません。

- 2** ✓ (承認スイッチ) を長押しします。
→ 本体が針・糸交換モードに切り替わります (P.21)。

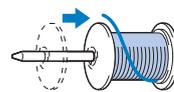
▲ 注意

針に糸を通すときは、すべてのスイッチをロックしてください。スタート/ストップスイッチなどが動いてけがをすることがあります。

- 3** 糸たて棒を起し、糸こまを糸たて棒に差し込みます。糸の向きがイラストと同じになるように差し込んでください。

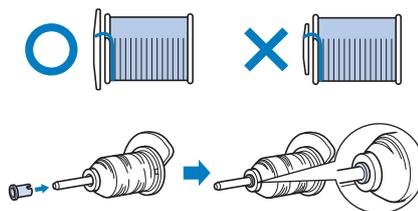


- 4** 糸こま押えを糸たて棒に差し込みます。糸こま押えの丸みをおびている面を外側にして、奥までしっかりと差し込みます。



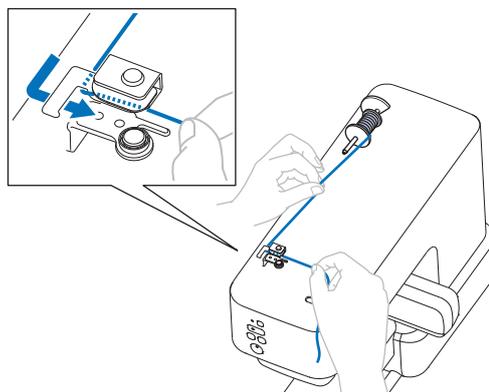
▲ 注意

糸こま押えは糸こまの大きさに合わせて使用してください。適切な糸こま押えの選び方については、「下糸を巻く」(P.18)の手順3「重要」を参照してください。

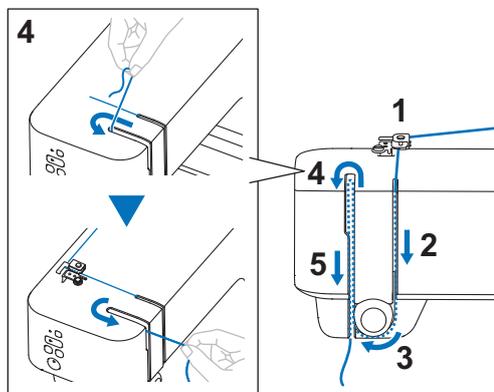


糸こまや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸が糸たて棒にからまったり、針が折れ、けがをするおそれがあります。

- 5** 糸案内に糸をかけます。

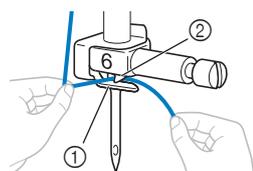


- 6** イラストのように本体右側面のミゾに沿って糸を通します。

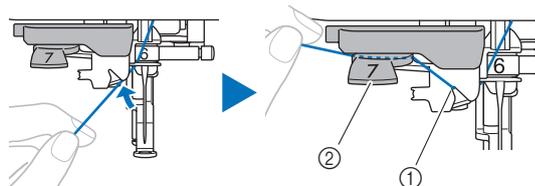


7 針棒系かけに糸をかけます。

左手で糸を押さえ、右手で糸端を持ってかけると、針棒系かけの後ろに通しやすくなります。針棒系かけのツメの左側に糸が通っていることを確認してください。



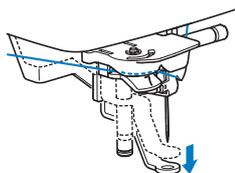
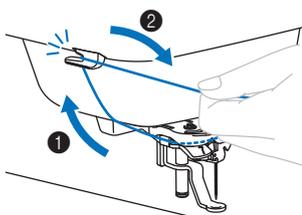
- ① 針棒系かけ
② ツメ

8 針棒系かけに通した糸の端を左へ引きます。糸ガイドのミゾにかけたら、糸を前からしっかりと引き、番号7の糸案内皿のすき間にはさみ込みます。

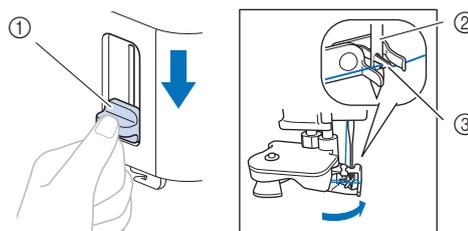
- ① 糸ガイドのミゾ
② 糸案内皿

9 ✓ (承認スイッチ) を押します。

→ 押えが下がります。

**10** 左側面の糸切りで糸を切ります。**💡 お願い**

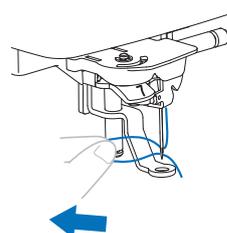
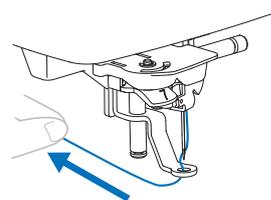
メタリック糸など、糸こまからほどけやすい糸を使用している場合、糸切りで糸を切ると糸通しできないことがあります。このようなときは、糸案内皿（番号7）に糸をかけてから、糸を切らずに8cm以上引き出してください。

11 左側面の糸通しレバーを、糸通し装置のフックが回転するまで下げます。

- ① 糸通しレバー
② 針
③ フック

12 糸通しレバーをゆっくりと上へ戻します。**13** 針穴を通った糸をゆっくり引っ張ります。

糸が輪になっている場合は、輪をゆっくり引っ張り、針穴から糸を引き出します。

**14** 糸を押えの穴に上から通して、後ろ側へ10cmほど引き出します。**15** ✓ (承認スイッチ) を長押しします。

→ 承認スイッチのLEDが消え、針・糸交換モードが解除されます。

刺しゅうする

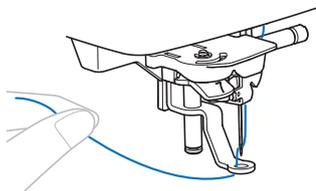
アプリに表示されている色の刺しゅう糸を用意してください。

上糸を1色ごとに替えながら模様を刺しゅうします。



- 1 押えの穴に通した糸を本体の後ろ側へ出して、左手で軽く保持します。

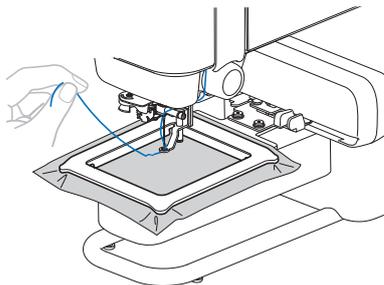
糸を少したるませておいてください。



▲ 注意

大きな布地に刺しゅうする場合は、本体を置いた台に布地を垂らさないようにしてください。布地の重みで刺しゅうキャリッジの動きが制限されると、刺しゅう枠が針に当たり、針が折れ、けがをするおそれがあります。

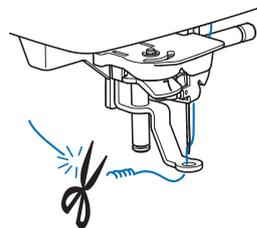
- 2 スタート/ストップスイッチを押して縫製を開始します。5～6針ぬったあと、もう一度スタート/ストップスイッチを押して、縫製を止めます。



💡 お願い

刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が物に当たると、模様くずれの原因となります。

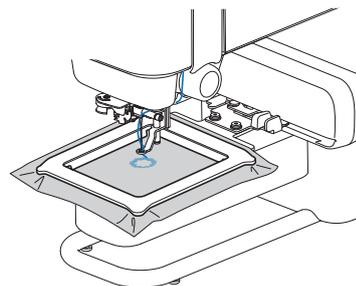
- 3 ぬい目のざわで余分な糸を切ります。



余分な糸を残したまま縫製を続けると、模様の中にぬい込まれて、取り除きにくくなります。ぬい始めの糸端は、1色ごとにはさみで切ってください。

- 4 スタート/ストップスイッチを押して縫製を再開します。

→ 1色目の縫製が完了すると、自動的に止めぬいをして止まります。自動糸切りを設定しているときは、自動で糸が切れます。



- 5 1色目の糸を取り外します。
- 6 残りの色も同じ手順で刺しゅうします。



→最後の色の縫製が完了すると、刺しゅうが完了したことを知らせる画面がアプリに表示されます。同じ模様を続けて刺しゅうするか、別の模様を刺しゅうするかを決めたら、アプリの指示に従って操作してください。

■ 途中で糸が切れたり、少なくなったときは

• 上糸が切れたとき

 : アプリ

- 1 [閉じる] をタップしてエラーメッセージ画面を閉じます。
- 2 [針数] をタップします。
- 3 <、<<、または<<< をタップして、糸が切れた位置から2～3針多く針を戻して [完了] をタップします。

 : 本体

- 4 ✓ (承認スイッチ) を押します。
→ 承認スイッチのLEDが消えます。
- 5 > (糸切りスイッチ) を押して、上糸と下糸を切ります。
- 6 上糸をかけ直します。(P.24)
- 7 スタート/ストップスイッチを押して、縫製を再開します。

• 下糸が少なくなったとき

 : アプリ

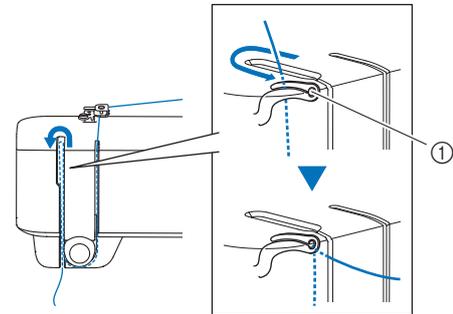
- 1 エラーメッセージ画面の [枠を取り外しやすい位置に移動] をタップしてください。自動糸切り後、刺しゅう枠が、取り外しのしやすい位置に移動します。
- 2 上記「上糸が切れたとき」の手順1から3を参照して、針数を戻します。

 : 本体

- 3 ✓ (承認スイッチ) を押します。
→ 承認スイッチのLEDが消えます。
- 4 刺しゅう枠を取り外します。(P.23)
- 5 下糸が巻いてあるポピンをセットします。(P.20)
- 6 刺しゅう枠を取り付けます。(P.22)
- 7 スタート/ストップスイッチを押して、縫製を再開します。

エラーが解消されない場合は、以下を確認してください。

- 本体に強い光が当たっていないことを確認してください。直射日光のような強い光が本体に当たると、下糸センサーが誤作動することがあります。
- 上糸に関するエラーが解消されない場合は、上糸がてんびんにきちんとかかっていることを確認してください。



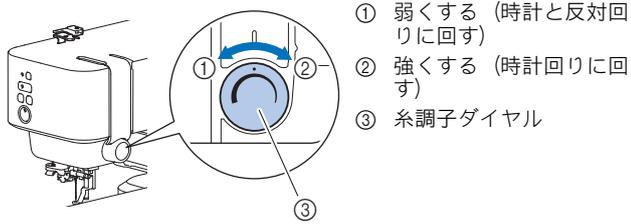
① てんびん

■ 電源を切ったあと、縫製を再開する

縫製が中断されたときは、操作中の色と針数が本体に記憶されます。次に本体の電源を入れたときに、中断したところから操作を続けるかどうかをアプリで選択することができます。

糸調子を整える

上糸の糸調子は、糸調子ダイヤルで調整します。



💡お願い

ぬい目がたるんでいるときは、糸調子ダイヤルを1段階ずつ強くして試しぬいしてください。

■ 正しい糸調子

布地の裏側に、少し上糸が見える状態です。



■ 上糸が強すぎる時

布地の表側に下糸が出ます。このときは、糸調子を弱くしてください。



■ 上糸が弱すぎる時

上糸がたるみます。このときは、糸調子を強くしてください。



💡お願い

下糸セットと上糸通しが正しく行われていない場合、糸調子が合わないことがあります。糸調子を調節しても糸調子が合わないときは、下糸セットと上糸通しをやり直してください。

第3章 付録

本体のお手入れ

▲ 注意

- 本体の掃除は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。けがの原因となります。

本体表面の掃除

本体表面の汚れをふき取るときは、水かぬるま湯を含ませたやわらかい布を固く絞ってふいてください。

ふいた後は、乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

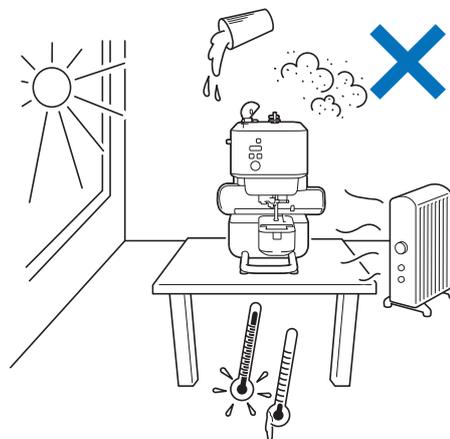
注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わないでください。故障の原因となります。本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて出荷されていますので、定期的に注油する必要はありません。万一、プーリーを回すと重い、異常な音がするなどの症状が発生した場合は、ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

本体を使用・保管するときのご注意

以下の場所に本体を保管しないでください。結露によるさびの発生など、故障の原因となります。

- 温度が著しく高くなる場所
- 温度が著しく低くなる場所
- 急激に温度が変化する場所
- 湿気、湯気が多い場所
- 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- 屋外や、直射日光、スポットライトなどの強い光が当たる場所
- ほこり、油煙の多い場所



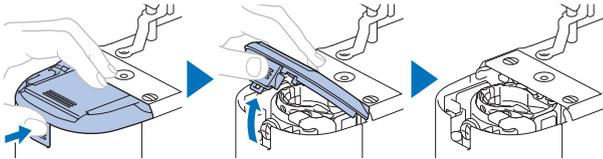
💡 お願い

本製品を末永くご愛用いただくために、ときどき電源を入れて、縫製してください。長期間保管したまま使用しない状態が続くと、本製品の性能を損なうおそれがあります。

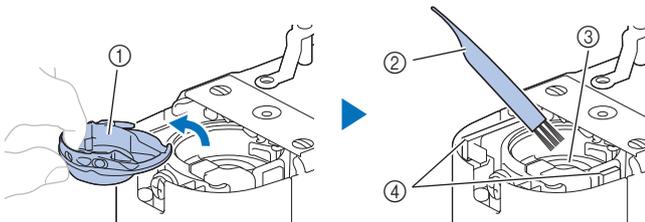
かまの掃除

かまには糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良の原因になる場合があります。定期的に掃除してください。

- 1 ↓ (糸通し位置スイッチ) を押して針を上げます。
- 2 針を取り外します。(P.32)
- 3 本体の電源を切ります。
- 4 電源コードを電源ジャックから抜きます。
- 5 針板カバーを取り外します。

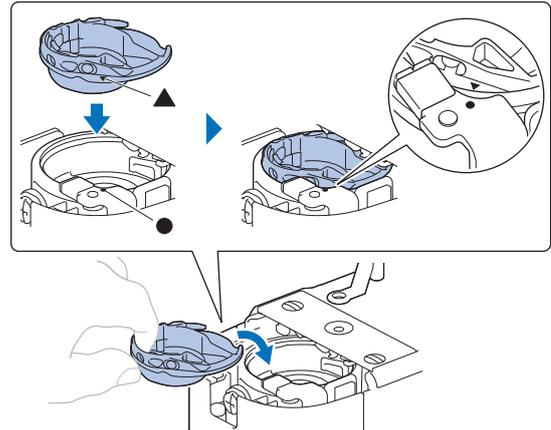


- 6 かまを取り出し、外かまと下糸センサー周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



- ① 内かま
- ② ブラシ
- ③ 外かま
- ④ 下糸センサー

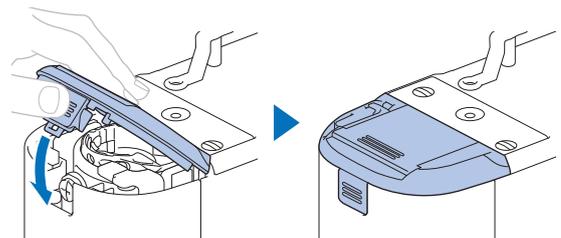
- 7 ▲印と●印が合うように、内かまを取り付けます。



▲ 注意

- 傷やバリがある内かまは使用しないでください。万一使用すると、上糸がからみ、針が折れ、けがをすることがあります。新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店でお買い求めください。
- 内かまは正しい位置に取り付けてください。針が折れ、けがをすることがあります。

- 8 針板カバーを元に戻します。



- 9 「針を交換する」(P.32)の手順6を参照して、針を取り付けます。

針の交換

▲ 注意

- 必ず家庭用ミシン針（HA×1）を使用してください。そのほかの針を使用すると、針が折れ、けがをすることがあります。
- 曲がった針は使用しないでください。けがをすることがあります。

■ 糸と針の番号

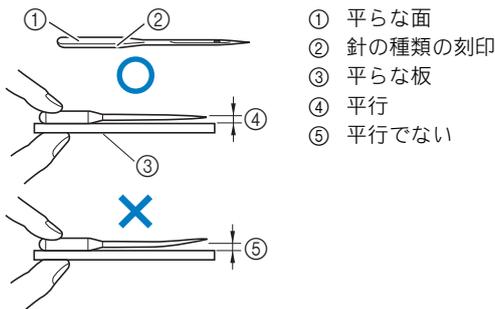
糸は、数字が小さいほど太くなり、大きいほど細くなります。
針は、数字が大きいほど太くなり、小さいほど細くなります。

■ 刺しゅう用の針

11番の家庭用ミシン針を使用してください。

正しい針の見分け方

針を使用する前に、針の平らな面を平らな板などに合わせて確認してください。すき間が平行にならない針は使用しないでください。



💡 お願い

針は消耗品です。次の事例にあてはまるときは、針を交換してください。

- 針が布地に刺さる際に通常と異なる音（パツパツやパスパスなど）が出るとき（針先が折れていたりつぶれていたりする可能性があります。）
- 目とびが起きるとき（針が曲がっている可能性があります。）

針を交換する

「正しい針の見分け方」（P.32）で確認した新しい針と、付属のドライバーを用意します。

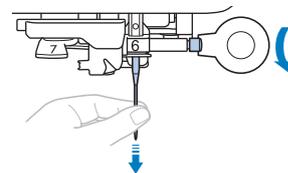
- 1 ↓（糸通し位置スイッチ）を押して針を上げます。
- 2 内部に針が落ちるのを防ぐために、押えの下に布または紙を置いて、針板の穴をふさぎます。

- 3 ✓（承認スイッチ）を長押しします。
→ 本体が針・糸交換モードに切り替わります。（P.21）

▲ 注意

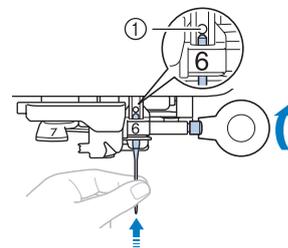
針を交換するときは、必ず本体をロックしてください。ロックせずにスタート/ストップスイッチやその他のスイッチを押すと、本体が作動してけがをすることがあります。

- 4 ✓（承認スイッチ）を押します。
→ 押えが下がります。
- 5 左手で針を持ち、ドライバーで針のとめネジを手前（時計と反対回り）に回し、針を取り外します。



針のとめネジをゆるめたり、しめたりするときは強い力をかけないでください。部品が破損する場合があります。

- 6 新しい針を平らな面が後ろ側になるように、針棒のストッパーに当たるまで差し込みます。そのあと、ドライバーで針のとめネジを奥側（時計回り）に回し、針のとめネジをしめます。



① 針棒のストッパー

▲ 注意

針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、ドライバーでとめネジを確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針が折れ、けがをすることがあります。

- 7 ✓（承認スイッチ）を長押しします。
→ 承認スイッチのLEDが消え、針・糸交換モードが解除されます。

困ったとき

LEDの見方

• Bluetooth スイッチ

LEDの状態	本体の状態	参照先
点灯	モバイル端末と接続中です。	13
点滅 1 (3秒間隔の点滅)	モバイル端末と接続していません。	13
点滅 2 (1.5秒間隔の点滅)	ペアリングのための準備をしています。 ペアリングの相手となるアプリが未設定のとき (はじめてペアリングをするときや、設定しなおすとき) は、この状態になります。	13
点滅 3 (0.5秒間隔の点滅)	ペアリングのための準備をしています。 ペアリングの設定は完了しているけれども、モバイル端末との接続がまだ確立していない間は、この状態になります (本体の電源を入れたときや、アプリとの接続不良のとき、など)。	13, 33
点滅 4 (0.25秒間隔の点滅)	アプリからのデータを受信しています。	—

• 承認スイッチ

LEDの状態	本体の状態	参照先
点滅	本体の状態は、スタート/ストップスイッチのLEDの色によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> スタート/ストップスイッチが橙色に点灯している場合は、針・糸交換モード中です。承認スイッチを長押しすると針・糸交換モードを解除します。 スタート/ストップスイッチのLEDが消えている場合は、本体の初期状態やトライアルランなどの準備中です。アプリの指示に従って操作をしてください。 スタート/ストップスイッチが赤色に点灯している場合は、糸切れなど、本体での対応が必要なエラーが発生しています。承認スイッチを押し、アプリの指示に従って該当のエラーに対処してください。 	21

• スタート/ストップスイッチ

LEDの状態	本体の状態	参照先
緑色の点灯	縫製中です。スイッチを押すと縫製を中断します。	26
緑色の点滅	縫製スタンバイ中です。スイッチを押すと縫製が開始します。 (刺しゅうデータの受信後と、糸色交換のタイミングで点滅します。)	26

LEDの状態	本体の状態	参照先
橙色の点灯	針・糸交換モード中、もしくは下糸巻き中です。 <ul style="list-style-type: none"> 針・糸交換モード中は、承認スイッチのLEDが点滅します。この状態で他のスイッチを押しても本体は作動しません。 下糸巻き中にスイッチを押すと、下糸巻きをストップします。 	18, 21
橙色の点滅	下糸巻きスタンバイ中です。スイッチを押すと下糸巻きを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> 下糸巻きが終わったら、下糸巻き軸を手前に戻してください。 	18
赤色の点灯	エラーが発生しています。 アプリの指示に従って対応してください。アプリのホーム画面左上の  マークをタップすると、エラー詳細を確認できます。	—
緑、赤、橙色の順に点灯	本体ソフトウェアのアップデート中です。	38
消灯	刺しゅうデータが受信されていない状態です。スイッチを押しても縫製しません。	—

通信がうまくいかないときは

本体とモバイル端末の通信がうまくいかないときは、以下を確認し、問題を解決してください。

- 本体の電源は入っていますか？
→ 本体の電源がONになっていることを確認してください。
- 本体とモバイル端末の距離が遠すぎませんか？
→ 本体とモバイル端末を近づけてみてください。
- 電子レンジなど、通信を妨げる電波を発している機器がありませんか？
→ 電波を発している機器を近づけないでください。
- モバイル端末の Bluetooth 接続は ON になっていますか？
→ モバイル端末で、Bluetooth の設定を確認してください。

ペアリング中のモバイル端末と本体の通信エラーが解消されない場合は、一度ペアリングを解除してから再度ペアリングしてください。

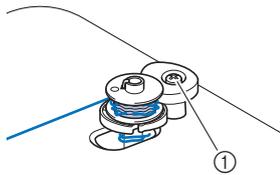
- 1 ホーム画面の  をタップします。
- 2 ペアリング中の機器を選択し、本体の設定画面を開きます。
- 3 [削除] をタップします。
- 4 モバイル端末の、Bluetooth の設定画面を開きます。
- 5 本体の機器情報を削除し、ペアリングを解除します。
- 6 本体とのペアリングを再設定します。(P.13)

ポビン受け座の下に糸がからまってしまった

糸が糸案内の皿の下に確実に通っていない状態で下糸を巻くと、ポビン受け座の下に糸が巻かれてしまうことがあります。

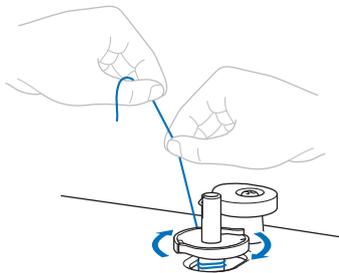
⚠ 注意

- ポビン受け座の下に糸が巻かれても、ポビン受け座は外さないでください。受け座のカッターでけがをするおそれがあります。
- ポビンホルダーのネジは外さないでください。外すと、故障するおそれがあります。ネジを外しても、糸はほどけません。



① ポビンホルダーのネジ

- 1 下糸巻きを停止します。
- 2 糸案内の近くの糸を、はさみで切ります。
- 3 下糸巻き軸の位置を手前に戻し、下糸巻き軸からポビンを抜きます。ポビンと軸の間の糸を切り、ポビンを軸から完全に取り外します。
- 4 左手で糸端を持ち、右手でポビン受け座近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



こんなときは

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。追加のサポート情報が必要な場合は、ブラザーのサポートサイトで最新情報をご確認いただけます。
<https://s.brother/cpuaa/>



参照ページが「*」のときは、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

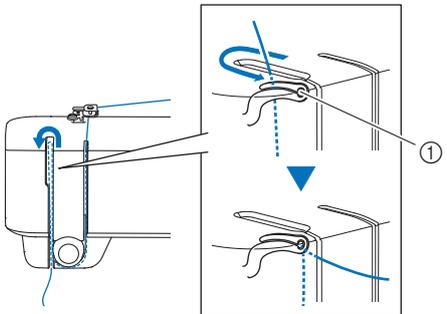
■ むう前の準備

症状、原因（対処内容）	参照先
糸通しができない／針穴に糸が通らない	
針の位置が正しくない。 ・糸通し位置スイッチを押して針を適切な位置に合わせます。	24
上糸の通し方がまちがっている。	24
針の取り付け方がまちがっている。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
糸通し装置のフックが曲がっていて、針穴に通らない。	*
糸通し装置が動かない。糸通しレバーが戻らない。	*
下糸がきれいに巻けない	
糸案内に糸がしっかりかかっていない。	18
糸案内から引き出した糸を正しくポビンに巻き付けていない。	18
ポビンが下糸巻き軸に正しくセットされていない。	18
下糸巻き中、ポビン受け座の下に下糸が巻かれた	
糸案内の皿に糸がしっかりかかっていない。 ・からまった糸をほどき、下糸を巻き直します。	18, 34
模様アプリから転送されない	
本体とモバイル端末が Bluetooth で接続されていない。	13, 17, 33
模様データが転送されたとき、Artspira（アーツピラ）アプリが別の機器と接続している。	13
本体のソフトウェアが最新の状態にアップデートされていない。	38
Artspira（アーツピラ）アプリが最新の状態にアップデートされていない。	-

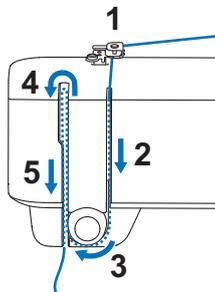
■ ぬっているとき

症状、原因 (対処内容)	参照先
本体が動かない	
スタート/ストップスイッチを押していない。	26
下糸巻きをしたあと、下糸巻き軸の位置が奥側のままになっている。(スタート/ストップボタンが橙色に点滅している。) ・縫製するときは、下糸巻き軸を手前に戻してください。	-
模様が転送されていない。	17
針・糸交換モードになっている。	21
針が折れる	
針の取り付け方がまちがっている。	32
針のとめネジがゆるんでいる。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
布地に合った針・糸を使用していない。	32
針板の穴の周辺に傷がある。	*
押え穴の周辺に傷がある。	*
上糸の通し方がまちがっている。	24
上糸調子が特に強すぎる。	29
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
下糸が正しく巻かれていない。	18
本機純正のポピンを使用していない。	18
内かまに傷がある。	*
布地が厚すぎる。 ・布地の厚さは2mmより薄いものを使用してください。	14
布地に刺しゅう用接着芯を貼っていない。	15
上糸が切れる	
上糸の通し方がまちがっている(糸こまが正しくセットされていない、糸が針棒糸かけから外れているなど)。	24
糸にこぶや結び目がある。	-
糸がからまっている。	-
上糸調子が強すぎる。	29
針の取り付け方が間違っている。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
布地に合った針・糸を使用していない。	32
針板の穴の周辺に傷がある。	*
押え穴の周辺に傷がある。	*
本機純正のポピンを使用していない。	18
内かまに傷がある。	*

症状、原因 (対処内容)	参照先
布裏で糸がからまる	
上糸の通し方がまちがっている。	24
布地に合った針・糸を使用していない。	32
上糸がつる	
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
上糸の通し方がまちがっている。	24
糸調子が合っていない。	29
下糸が切れる	
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
下糸が正しく巻かれていない。	18
傷のあるポピンを使用している。	18
本機純正のポピンを使用していない。	18
本機純正の刺しゅう用下糸を使用していない。	18
糸がからまっている。	-
布地にしわがよる	
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
本機純正の刺しゅう用下糸を使用していない。	18
上糸の通し方がまちがっている。	24
接着芯を貼っていない。	15
布地に合った針・糸を使用していない。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
ぬい目がとぶ	
布地に合った針・糸を使用していない。	32
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
本機純正の刺しゅう用下糸を使用していない。	18
上糸の通し方がまちがっている。	24
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
針の取り付け方がまちがっている。	32
針板の下にゴミがたまっている。	31

症状、原因 (対処内容)	参照先
ぬい目ができない	
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
上糸の通し方がまちがっている。 ・ てんびんに糸がかかっていることを確認してください。	24
 <p>① てんびん</p>	
ぬい音が高い／ガタガタと音がする	
かまの部分に糸が巻き込まれている。	31
上糸の通し方がまちがっている。	24
本機純正のポピンを使用していない。	18
内かまに針が刺さった穴やすり傷がある。	*
針が針板に当たる	
針のとめネジがゆるんでいる。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
プーリーを回したときに重い	
糸がかまなどにからんでいる。	-

■ 仕上がり

症状、原因 (対処内容)	参照先
糸調子が合わない	
上糸の通し方が間違っている。 ・ 図で示した部分に糸を通すときに押えが上がっていることを確認してください。	24
	
糸調子が合っていない。	29
下糸が正しく巻かれていない。	18
下糸セットのしかたがまちがっている。	18
本機純正のポピンを使用していない。	18
本機純正の刺しゅう用下糸を使用していない。	18

症状、原因 (対処内容)	参照先
布地に合った針・糸を使用していない。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	32
刺しゅう模様がかずれる	
糸がからまっている。	-
糸調子が合っていない。	29
刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない (布地の張り方がゆるいなど)。	15
接着芯を貼っていない。 ・ 特に伸びる布地、薄地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ります。適切な接着芯については、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	15
刺しゅう用接着芯が、刺しゅう枠よりも小さいなど、正しく貼られていない。	15
刺しゅう枠からはみ出した布地がじゃまになっている。 ・ 刺しゅう枠からはみ出した布地がじゃまにならないように布地を張り替え、模様を回転させて刺しゅうをします。	16, 22
刺しゅうキャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。 ・ 縫製をする前に「トライアルラン」を実行して、刺しゅう枠がひっかかりなく動くことを確認してください。	22
布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。 ・ 縫製を止めて布地を正しい位置に直します。 ・ 縫製をする前に「トライアルラン」を実行して、刺しゅう枠がひっかかりなく動くことを確認してください。	22
縫製の途中で、刺しゅう枠を取り外したり、取り付けたりしたときに、刺しゅうキャリッジを動かした。 ・ 縫製の途中で刺しゅうキャリッジを動かすと、模様かずれの原因となります。刺しゅう枠を取り外したり取り付けたりするときは、注意してください。	22
重たい衣類に縫製していて、テーブルから布地が垂れ下がっている。 ・ 布地がテーブルから垂れ下がった状態で縫製をすると、刺しゅうキャリッジの動きが悪くなります。布地が垂れ下がらないようにしてください。	26
決まった場所に刺しゅうができない	
ぬい始めの位置が正しくない。 ・ [カメラ撮影] 機能を使用してください。	16
刺しゅうした布地の表側に糸のループができる	
糸調子が正しく調節されていない。	29
本機純正の刺しゅう用下糸を使用していない。	18

エラーメッセージ

誤った動作が確認されたときは、エラーメッセージでお知らせします。アプリにエラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

以下の Web ページでは、エラーの解決方法を手順ごとに説明しています。

<https://s.brother/cquka/>



	エラーメッセージ	対処
1	上糸を確かめ、もう一度かけ直してください	上糸が正しくかかっていないときや、なくなったときに表示されま す。 上糸をかけ直してください。(P.24) 縫製中に上糸がなくなった場合は、「途中で糸が切れたり、少なくな ったときは」(P.28)を参照してください。
2	エラーにより停止しました	何らかの不具合が生じたときに表示されます。 お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」まで お問い合わせください。
3	下糸が少なくなりました	下糸が少なくなったときに表示されます。 ただちに糸が巻いてあるボビンに交換してください。(P.18) 縫製中に下糸がなくなった場合は、「途中で糸が切れたり、少なくな ったときは」(P.28)を参照してください。
4	下糸の安全装置が働きました	糸がらみなどでモーターがロックしたときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 縫製中にエラーが発生した場合 本体の電源を切り、かまを掃除して糸くずを取り除いてください。 (P.31) 内かまとボビンを正しく取り付けてください。(P.20、P.31) 針が曲がっている場合、交換してください。(P.32) そして、上糸を正しくかけ直してください。(P.24) 下糸巻き中にエラーが発生した場合 下糸巻き軸から糸を取り除いてください。(P.34)
5	定期点検の時期になりました	メッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店にご相談のう え、定期点検をご依頼ください。本体を引き続き使用することはで きますが、適切な点検が完了するまでは何度も表示されます。
6	針板カバーをチェックします。	針板カバーが外れているときや、正しく取り付けられていないとき に表示されます。「かまの掃除」(P.31)の手順 8 を参照して、針 板カバーを取り付けてください。
7	針数を変更できません	アプリで変更した針数の設定内容が本体に送信できなかったときに 表示されます。スタート/ストップスイッチを押して縫製を中止し てから、針数を変更し直してください。
8	マシンとの接続が切れました	ペアリングした機器との接続に不具合が生じたときに表示されます。 「通信がうまくいかないときは」(P.33)を参照して、問題を解決 してください。

本体をアップデートする

本体ソフトウェアは、アプリを介してアップデートすることができます。アプリの通知に従って、本体をアップデートしてください。

アップデート情報は、アプリから確認することができます。

■ ソフトウェアの更新情報を確認し、本体をアップデートする

- 1 ホーム画面の  をタップします。
- 2 接続中の機器名をタップします。
- 3 [ソフトウェアバージョン] をタップします。
→ソフトウェアの更新情報が表示されます。
- 4 ソフトウェアのアップデートが必要な場合は、利用許諾をお読みいただき、[同意する] をタップしてください。
本体のアップデート中は、スタート/ストップスイッチのLEDが様々な色に光ります。アップデート完了後、本体は再起動し、ブザーが鳴ります。アプリとの通信が再開後、引き続き本機をご使用いただけます。

重要

アップデート中は、本体の電源を切らないでください。
途中で切ると、本体が故障するおそれがあります。

製品を貸与・譲渡・廃却するときの注意

以下の情報を消去し、お買い上げ時の状態にリセットしてください。

- 保存されているすべての情報
- 設定した内容
- ネットワーク設定情報

- 1 ホーム画面の  をタップします。
- 2 接続中の機器名をタップします。
- 3 [初期状態にリセット] をタップします。
リセットに同意いただくと、アプリと本体の通信が開始し、本体の中にある情報を削除します。

通信中は、本体の電源を切らないでください。

仕様

項目	仕様
本体寸法	437mm (幅) × 230mm (奥行) × 318mm (高さ)
製品質量	7.6kg
刺しゅうの最高速度	毎分 400 針
定格電圧/消費電力	100 V (50-60 Hz) / 36 W
対応インターフェース	Bluetooth LE • Profiles: GATT
最大刺しゅう範囲	100mm×100mm

索引

A

Artspira (アーツピラ) アプリ 13

B

Bluetooth 13

L

LED 33

あ

アップデート 38

い

位置合わせ 16

糸 11

糸こま押え 18

糸調子 29

糸通し装置 25

う

内かま 31

上糸 11, 24

え

エラーメッセージ 37

お

押え 10

お手入れ 30

か

カメラ撮影機能 16

こ

困ったとき 33

し

刺しゅう 14

刺しゅう枠 (布地を張る) 14

刺しゅう枠 (枠を取り付ける) 22

刺しゅう枠 (枠を取り外す) 23

下糸 11, 18

下糸セット 20

下糸巻き 18

せ

接続 13

接続エラー 33

接着芯 15

そ

掃除 30

外かま 31

て

電源 12

と

トライアルラン 22

ぬ

布地 14

は

針 32

針板 10

針板カバー 10, 31

針板ふた 20

ふ

プレワウンドボビン 11

へ

ペアリング 13

ほ

ボビン 18

ま

マグネット枠 14

め

メタリック糸 25

り

利用規約 5

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (マシン119番)」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのマシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室 (マシン119番)」にご相談ください。

■ お客様相談室 (マシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「お客様相談室 (マシン119番)」までお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

<https://s.brother/crgka/>



- お客様相談室 (マシン119番) は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
マシン背面の定格ハリマーク (銀色シール) の下記部分をご確認ください。



■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。
<https://www.brother.co.jp/>

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。
<https://s.brother/cpuaa/>



本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象となりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using it overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

